



体験で得た知見を基に いよいよ提案!

第三部では、島根県で見聞した内容をふまえ、宮古島市城辺友利地区の地域課題に対する解決提案をとりまとめた。そして宮古島に出向き、その提案をプレゼンした。



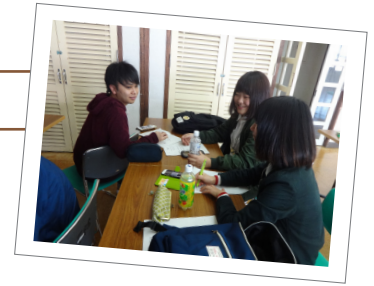
見た、聞いた、知った、 体験して得た知見を提案へ

第三部では、島根県で見聞した内容を踏まえ、宮古島市城辺友利地区の地域課題に対する解決提案をとりまとめた。そして宮古島に出向き、その提案をプレゼンした。

実施日 3月16日(木)

第三部全体実施行程表

3月16日(木)		
時間	内容	備考
9:30	那覇空港に集合 ※航空券、行程表、名札渡し	
10:30	JTA557 便	
11:20	宮古空港到着(航空券半券回収) レンタカー借り受け	
12:00	<昼食>	ランチ場所：海鮮悟空 所在地：〒906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里 246 バイナガマビーチマンション 2F 電話：0980-72-0897
13:30	宮古島市中央公民館到着	
14:00	宮古島市中央公民館にてプレゼン発表会開始(式次第別紙)	「遠藤」先生のお名前が13名で予約済み。
17:00	発表会終了(予定時刻より早く終了する場合あり)	
17:30	レンタカー返却	渡久山さん、砂川さんは中央公民館に直行。
18:55	JTA572 便 ※飛行機内でプロジェクト全体の振り返りシート記入	※宮古島市中央公民館 所在地：〒906-0013 沖縄県宮古島市平良下里 315 電話：0980-73-1123
19:40	那覇空港到着 ※航空券半券、名札、振り返りシート回収後、解散	



集合

那覇空港に9時30分に集合。



宮古空港に到着

教員3名はレンタカーを借り受けに行く。学生はその間宮古空港で待機。その後、ランチ組と会場設営組に分かれる。

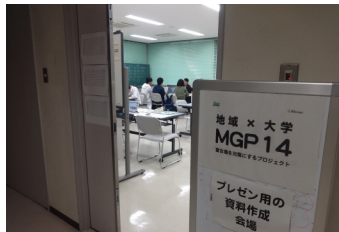


集中してプレゼン準備に励む3日間

3月13日(月)～15日(水)の3日間、16日(木)のプレゼンに向けてグループごとの準備作業を行った。連日、朝9時から続々と学生たちが集まってきた……。部屋の隅に置かれた机の上には、遠藤先生から毎日お菓子と飲み物の差し入れがあったがあっという間になくなる。島根の視察から戻った翌日(11日土曜日)に自主的に集まりアウトラインをまとめたグループも！



プレゼン準備作業の様子



プレゼン準備作業室となった304講義室



プレゼン用ワークシートを埋めていく学生ら



各グループで熱い議論が行われた



遠藤先生からの山のような差し入れ



プレゼンシート作成用に配布した資料の数々



プレゼン開始

14時からいよいよプレゼン開始。14名が3グループに分かれ、それぞれアイデアを発表した。

宮古新報、宮古毎日新聞、宮古テレビなど、報道関係者も取材に訪れ、会場は盛り上がった。

また、宮古島出身の参加学生の親御さんからシフォンケーキとお菓子の差し入れを頂く。

各グループ共にギリギリまでリハーサルをしたり、パワポの修正をしていたが、無事にプレゼンを終えた。

学生たちからのユニークなアイデアに対し、宮古島市役所、また、友利地区の方々からは、概ね高い評価を頂いた。学生のアイデアに、「無理だ」「できない」というのではなく、「これらのアイデアをどうすればできるのか、考えたい」という前向きな意見を頂いた。



平日のお忙しい中、報告会に足を運んでくださった友利地区の皆さん、宮古島市役所の皆さん、本当にありがとうございました！

※報道された当日の様子は、P.53 参照

各グループの
実際のプレゼン資料は、
P.53 を参照

最後は全員で記念撮影



学びのポイント

自分の立ち位置を確認し、自分自身の変容に気付く

課題解決に向けた提案をまとめるのが本プロジェクトの一つのゴールである。しかし、そのような目に見えるもの以外にも、本プロジェクトでは、学生たちが自分自身の変容に気付くことを重視してきた。そのために、各段階で「振り返り」作業を行った。この振り返りを通して自分を見つめ直すことで考え方の幅を広げ、またそれぞれの考え方を参加学生同士で共有することにより、「地域とは何か」という大きな課題を更に深く考えることができるようになる。



学生の感想

※原文ママ

第三部を終了した3月16日(木)の振り返りシートから

●参加学生男子

今回のプロジェクトに参加してみて地域づくりの大変さという事に気付かされました。自分が何かをすれば地域が変わるという事ではなくて地域住民が一体となって行わなければ意味がないです。島根に行ってみて外から見た沖縄、宮古島というのを知り、宮古島の地域振興のヒントになりました。発表も好評を頂いたので自分の自信にもなり、また次回も参加したいと感じました。

●参加学生男子

なかなかできない体験などを通して、都会だけでない田舎の良さや、これからに必要な課題について考えることができた。地域を活性化していくには、体験などを通して、目で耳で肌でその地域を感じることが大切で、その地域の人と一緒に問題解決に向けて考えることが、活性化への第一歩であると感じた。また、椅子に座ってただ調べたことを学ぶだけではなく、体験などのフィールドワークを通して学ぶことが、自分の身に一番学習できるなと思った。様々な地域の異なった文化、考え方に触れることで自分の今までの地域や考えが変化するいいきっかけとなった。

●参加学生女子

「地域活性化＝観光地化」と以前までは思っていましたが、このプロジェクトに参加して、地域の活性化は地域住民が自分たちの力で地域を盛り上げて、地域を楽しむことが大事なんだな、と感じました。なので、必ずしも観光客を集めて経済をまわすだけでなく、地域住民が暮らしやすいシステムづくりが重要だと思いました。また、地域の弱点を把握し、頼るところは頼る、協力してもらおう、といったように、人の力が重要な役割を担っているということを改めて学びました。

●参加学生男子

今回の反省としては島根のことをもっと詳しく知ることが出来ず質問に答えきれなかった点が多々あった、次回から理解をもっと深めて取り組みたい。また宮古の人が何を求めているか理解が必要だと感じた。こうしたプロジェクトに参加できて成長につながったし、地域の課題も実感でき、自分にもできることはないかと考える良い機会になりました。

